

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立川之江高等学校(全日制・定時制)

学校番号(1)

評価実施日		令和 6年 2月 16日(金)	
委員	氏名	所属等	備考
	川崎 奈見	川之江高等学校PTA会長	
	石村 美恵	川之江高等学校PTA役員	
	矢野 和孝	川之江高等学校定時制教育振興会会長	
	森実 直人	四国中央市立川之江北中学校長	
	瀬戸丸 尚正	四国中央市立川之江南中学校長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>【全日制】 今年度の最終評価について</p> <p>1 学校生活全般</p> <ul style="list-style-type: none">・授業後に、生徒に高校生活のことを聞くと「学校が楽しい」と言っていた。・この2年間を見ていて、先生方が本当に頑張っている。生徒たちに伝えたい熱い気持ちを持っていることがよく分かった。・学校全体が上昇している。学校評価アンケートを見てもよく分かる。 <p>2 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none">・自己評価表において、「分かる授業の実践」「ICTの導入」で100%の教員ができていてと答えていたことから、個に応じた指導ができていると感じる。それが教員、生徒たちの学校満足度につながっていると思う。・以前は先生が教え込むことが多かったが、今日の授業は生徒たちが主体的に活動していた。授業改善が進んでいる。特に芸術の授業では、生徒たちの表現力を教師がうまく引き出していることが素晴らしかった。・家庭学習習慣が定着していない生徒が多い。小学校からの習慣が大切である。一緒にいる時間が長い親の働き掛けが重要である。 <p>3 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none">・就職について、職種は多岐に渡っている。ミスマッチを起こさないためにも、高校在学中に企業見学の機会をもっと多く作ってもらいたい。・1年次から個々の生徒に寄り添ってそれぞれの進路に対応してくれている。しんどい子も川高で伸ばしてくれている。ありがたい。	<ul style="list-style-type: none">・生徒たちが充実した学校生活を送るために日々の学校行事の精選に努めたい。・先生方は生徒一人一人に寄り添って、学習指導、生徒指導に自信と誇りを持って取り組まれている。今後ともワークライフバランスのとれた働きやすい職場環境作りに努めたい。・今後も各教科、各先生方に個に応じた丁寧な学習指導の徹底をお願いする。また、ICTを積極的に活用した授業研究や、教科横断型授業研修、STEAM教育授業研修などに積極的に参加し、「分かる授業」の実践のため日々研鑽に努めたい。・今後も適切な学習課題の指示と、こまめな家庭学習時間調査の実施などにより、学習習慣の定着と家庭学習時間の増加を図りたい。・進路講演会や応募前職場見学などの就職指導の見直しを行い、より充実させることで、早期の離職率の低下につなげたい。・今後もホームルーム活動や、日頃の面談などを通じて、個に応じた丁寧な進路指導を先生方をお願いする。

4 特別活動

- ・自己肯定感を高めるには、自分の故郷への愛着を持つことは大切で、その意味でも、今年の甲子園出場は大きかった。生徒、教職員だけでなく地域が1つになった。野球部以外の生徒もやればできるという気持ちになったのではないかと。
- ・紙まつり、「18っ歳！」などのボランティア活動を通して、自分たちで企画して意見をぶつけ合う事を高校からやっていると、大人になってから生かせる。
- ・隣保館でのビラ配りも、高校生がリーダーシップを発揮し、司会・進行などに主体的に取り組んでいた。

5 中学校、PTA、同窓会との連携

- ・PTA主催の学習支援「橘サマースクール」は来年も開催したい。大学1年生の子が、友人や先生にこの話をすると、みんな驚いていた。今後は中学3年生にも案内してはどうか。
- ・本年度から同窓会主催で卒業生を送る会を計画している。生徒たちは、地域・同窓会などに支えていただいているという実感から自己肯定感の向上に繋がるのではないかと。
- ・中学校の「ふれ愛地域体験講座」に多くの部活動が参加してくれた。このように、中学生に高校生が接する機会が増えれば、川之江高校で学びたいと思う生徒も増えるのではないかと。

【定時制】

今年度の最終評価について

- ・授業見学や体育祭において生徒主体で活動している様子を見学して、定時制で頑張りたいと言っている(中学)3年生もいる。家庭環境が大変な生徒もいるが手を差し伸べて育ててくれている。今後もお願いしたい。
- ・生徒数が増えており、家庭環境の問題を抱えている生徒が多いようだが、分かる言葉で語り合う気持ちで生徒を育てて欲しい。
- ・定時制希望の生徒が増えている。丁寧に一つ一つ教えてくれる学校が、生徒の一つの道になるようお願いしたい。
- ・家庭に事情がある生徒の中には、少しでも早く就職しようと考えている生徒もいると思う。学校の前を通りかかったとき、そのような生徒が夜遅く頑張っていると感じている。1人でも2人でも就職の支援ができたらと思う。
- ・定時制の体育祭の日、多くの車が止まっていたことに驚いた。子どもの活躍する場をできるだけ見たいと思う保護者も多いと思うので、今後も生徒の活躍の場を増やすようにして欲しい。

- ・部活動では中学校との交流を積極的に進めたい。また活動状況などの情報発信については、ホームページだけでなくインスタグラムなどの方法も検討したい。
- ・ボランティアへの参加状況や活動状況については生徒会新聞などによる啓発活動に加え、生徒会主催のボランティアも企画していきたい。また令和5年度途中からボランティア募集などの情報に生徒がアクセスしやすいよう、フォームズでの募集に切り替えたので、年度初めに職員、生徒に周知したい。

- ・「橘サマースクール」や文化祭での「Kawako Marche」など、PTA、同窓会の皆さんには大変お世話になっている。今後もよろしくお願ひしたい。

- ・地元川之江の中学校とは様々な形で交流を行っている。今後も、川高生による活動発表会、ふれ愛地域体験講座、部活動での交流など様々な交流を積極的に行っていきたい。

- ・社会に貢献できる人材を育成するために、生徒一人一人の特性に応じた指導を長期的な展望を持って継続していきたい。

- ・生徒数が増加することで、個々への対応がおろそかにならないように、今後も生徒のニーズに応じた丁寧な指導を心がけたい。

- ・地域の方々の温かい気持ちにこたえるためにも、やりがいを持って働ける適切な職業観の育成に努めたい。

- ・生徒の主体性を重視しながら学校行事の充実を図りたい。また体育祭以外の学校行事も外部に積極的に公開できるように校内の体制を整えたい。